

11月の園便り



30年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤由美子

帰りの時間に、年少のしんのすけ君が職員室にきました。「僕、長靴はいてきたのに、給食のがあるが取れない」と言いにきました。「???」と思いながらついていくと、園庭用の靴が入っている下駄箱の前に給食用ワゴンが寄せられていて、下駄箱の前が塞がれていましたワゴンは普段、壁際にあるのですが、お掃除をしていた途中だったようです。

この様子を見て、しんのすけ君が言おうとしていたことが良く理解できました。しんのすけ君は私の顔を見て「ね!」といました。

加藤「ああ、そうね、これじゃあ取れないわね…（ワゴンを動かして）はいどうぞ」

しんのすけ君は、長靴を取って帰っていきました。

入園したてのころ、不安がいっぱいで担任にぴったりくっついて、どこに行くにも一緒だったしんのすけ君が、一人で言いたいことを言いにきたのです、しかも担任ではない加藤にも言ってくれたのです!!しんのすけ君の世界が広がったな～としみじみ思ったのです。困った時に、自分が言いたいことを言えるということは自分を自分で守る力となります。自己主張ができる子に育てたいと思っていますが、自己主張ができるようになるまでには、どんなことでも、いつでも、姿勢を低くして聞いてくれる人がいること、子どもがいったことを実現しようとしてくれる人がいることが必要です。

以前、玄関で会ったさらちゃんのお母さんが「今日は帰ると言うので帰ります」と言われていました。子どもの思いに応えることは、仕事があるとなかなかできないのですが、“今、できることをできる限りしてあげる”という姿勢を持っていたなら、子どもにそれが通じて、やがていつか…子どもは自分で「お母さんはお仕事だから我慢しよう」と自分の心に言い聞かせて妥協できるようになっていくことと思います、無理をする必要はないのです、今できる事をギリギリまでやる(=心を砕く)、今流行の言葉で言えば、「全力!」ということでしょうか…それが子どもに伝わって、子どもの心を形成する栄養となっていくのだと思います。子どもが自分の思いを言葉にして伝えてみたら、そのことをやってもらえたとしたら、「『言う』っていいことだな～」と思えます、“言葉で相手に伝えてみたら、自分の思いが実現した!”この経験をたくさん積み重ねてもらいたいと思っています。担任たちはこのことを心において、子どもたちの言葉にしっかりと耳を傾けています。もちろん、すべての子どもたちの言葉を聞くことができるとはいいがたく、子どもたちの人数分の耳と手が欲しいと思うところですが、どの子どもどの子ども自分の言いたいことが言えるように、できる限り姿勢を低くし心を傾けて子どもの言葉を聞き、受けとめていきたいと思っています。子どもたち一人ひとりに信頼してもらえるように、誠意をもって向き合っていきたいと思っています。

11月の予定

日	曜	給食	降園時間	行事
1	木	○	2:00	
2	金	○	2:00	
3	土	/	/	文化の日
4	日	/	/	
5	月	○	2:00	
6	火	○	2:00	
7	水	○	2:00	
8	木	○	2:00	
9	金	○	2:00	
10	土	/	/	第2土曜日
11	日	/	/	
12	月	○	2:00	
13	火	○	2:00	
14	水	×	11:30	新入園児保護者会 来年度入園児さん向けの説明会です。
15	木	○	2:00	
16	金	×	11:30	青陵幼稚園研修会を行います。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。
17	土	×	11:30	自由登園日
18	日	/	/	
19	月	○	2:00	
20	火	○	2:00	
21	水	×	11:30	誕生会、11月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
22	木	○	2:00	
23	金	/	/	勤労感謝の日
24	土	/	/	第4土曜日
25	日	/	/	
26	月	○	2:00	
27	火	○	2:00	
28	水	○	2:00	
29	木	○	2:00	
30	金	○	2:00	